

## 平成24年度 岁入歳出決算の状況

(金額の単位は円)

区分	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一般会計	39,027,821,834	▲2.1%	37,393,737,310	▲2.8%	1,634,084,524
特別会計	22,923,080,922	8.0%	22,085,615,445	7.0%	837,465,477
国民健康保険事業	13,104,180,297	5.0%	12,674,021,694	5.2%	430,158,603
下水道事業	3,342,963,786	19.0%	3,194,196,944	14.8%	148,766,842
介護保険事業	5,420,268,203	9.1%	5,173,471,539	6.8%	246,796,664
後期高齢者医療事業	1,055,668,636	8.5%	1,043,925,268	8.8%	11,743,368
合計	61,950,902,756	1.4%	59,479,352,755	0.6%	2,471,550,001

## 志政会

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

平成24年度決算は、起立多数をもつて認定されましたが、6名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

## 決算に対する討論



さまざまな事業を推進されてきたことは大いに評価します。▽災害に強いまちづくりとして、中部地域への大規模防災倉庫の建設や帰宅困難者、小・中学生の帰宅困難までを想定した30万食分の食料の備蓄、地域性を考慮した東柏ヶ谷近隣公園の防災機能強化、給油施設の購入など東日本大震災を教訓とし迅速な事業展開をおこなっていることに対し評価します。▽県内トップクラスの助成対象中学3年生までの子ども医療費助成事業について、海老名市が子育てしやすいまちである象徴的な事業でもあることから事業の継続を望みます。▽今年度スタートした後期基本計画でも「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」という将来市像をさらに具現化できるような個性豊かな施策を期待しています。

▽市債残高の大幅な増加、臨時財政対策債の発行、今後もこれらは財政硬直化につながることとなるため、注視していく必要があります。▽市内で2棟目となる大規模防災倉庫を中部地区に建設し、大規模災害

## 市政改革の会

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

時の配給物品や資機材、生活支援物品を計画的に備蓄配備し、災害時の迅速かつ円滑な対応が図れるようになつたことを評価します。▽海老名駅西口土地区画整理事業が本格的にスタートしました。4年間で、公費として市税収入の約半分が投入されることがあります。20年、30年後の市の姿を見据えた、しっかりととした方針の下でのまちづくりを望みます。▽大型商業施設の一角を地産地消の場所にするなど、都市型農業の利点を有効利用するよう、的確な農業政策を明示されることを望みます。▽野外教育施設「富士ふれあいの森」については、教育委員会をはじめ市内の各学校が存続を願っています。これらの意見を尊重し、事業を遂行されることを望みます。

## 創新海クラブ

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽財政が硬直化する中、どの自治体でも市民サービスの拡充はおろか、その維持に精一杯な状況において、本市にはより具体的に動き出した事業として海老名駅西口土地区画整理事業があります。この開発は、まちの賑わいはもちろんのこと、将来の税の涵養という視点からも必ず成功しなければいけない事業だと思いますので、側面的な支援も含め、鋭意努力をお願いします。▽東日本大震災を教訓とした防災事業は、平成23年度から引き続き取り組まれている事業ですが、北部に続き中部の大規模防災倉庫が建設され、引き続き南部への建設を進められていることに対し評価します。▽市民活動の推進を図るべく、協働のまちづくりの新たな拠点施設として、平成25年3月にえびな市民活動センター・交流館が供用開始されました。さらに来年の平成26年度には健康増進施設も完成予定であり、高齢者の市民には大いに活用してもらいたい、市をあげて健康増進に努めていただきたい。

## 公明党

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

ロールを365日実施しました。各地域の防犯パトロール隊との情報交換や連携できるような取り組みをさらに推進させていただきたい。▽児童・生徒の学習環境充実策として、他市に先駆け市費による非常勤講師の配置を行い少人数学級の実現化や特別に教育支援が必要な児童生徒などへの対応を手厚くされていることを評価します。

▽公債費については2億1500万円で対前年度比8.7%の増加ですが、みのり債一括償還分の3億円を差し引くと実質的に昨年度より下回っていることに対し高く評価します。▽予算現額に対する不用額をみると3億2900万円と前年度より15億円の増加となつており、繰越明許費分が約半分を占めていることから国庫補助金を活用した見積もりの甘さも要因の一つと考えます。▽防災カメラの設置は、災害の被害状況を把握し、被害を最小限に留めることにも有効な手段と評価します。▽犯罪件数の抑制に向けて、青バト車による防犯パト